

議事要旨

会議名	令和5年度第2回芦屋中央病院評価委員会			会場	芦屋町役場 3階31会議室	
日時	令和5年8月8日(火) 午後2時00分～午後3時20分					
件名・議題	<p>1. 議題</p> <p>(1) 第1回評価委員会議事要旨について</p> <p>(2) 令和4事業年度における業務実績報告書の自己評価に対する意見について</p> <p>(3) 第2期中期目標期間における業務実績報告書の自己評価に対する意見について</p> <p>2. その他</p> <p>(1) 今後のスケジュール</p>					
委員等の出欠	委員長	村松 圭司	出	オブザーバー (病院)	櫻井 俊弘	出
	副委員長	貞安 孝夫	出	オブザーバー (病院)	瓜生 康平	出
	委員	中野 徹	出	オブザーバー (病院)	森田 幸次	出
	委員	須賀 由美子	出	オブザーバー (病院)	竹井 安子	出
	委員	武藤 淳	出	オブザーバー (病院)	檜田 房男	出
	委員	本田 浩	出	オブザーバー (病院)	中野 悟子	出
	事務局	溝上 竜平	出	オブザーバー (病院)	市村 修	出
	事務局	志村 裕子	出	オブザーバー (病院)	坂本 林太郎	出
	事務局	泉原 香織	出	オブザーバー (病院)	室山 雄一	出

【合意・決定事項】

○議題（1）第1回評価委員会議事要旨について

第1回議事録要旨の内容について了承を得た。

○議題（2）令和4事業年度における業務実績報告書の自己評価に対する意見について

令和4事業年度における業務実績報告書の委員会の評価について以下のとおり決定した。

すべての項目において委員会の評価は、法人評価と同様とする。また、以下のとおり意見を追加することとする。

第1-1-（5）災害時等における医療協力

「災害等レベルと考えられる令和3年度の新型コロナウイルス感染症に対する臨機応変な対応を振り返りつつ、次の災害に備えることを望む。」と意見を追加する。

第1-2-（1）医療従事者の確保

「コメディカル職員の中でも特に薬剤師は引き抜きや転職など異動が多く、人材の確保が難しいと感じているが、そのような状況においても人材をよく確保できており評価できる。」及び「認定看護師を除くすべての指標において、計画と同じもしくは上回っており人材確保の努力がうかがえる。」と意見を追加する。

第1-2-（4）第三者評価機関による評価

「ISOの審査はマニュアルを重視し、達成できているかを判断する厳しいものであるが、それに対して不適合数が0であるということは、大変評価できる。」と意見を追加する。

第1-3-（1）患者中心の医療の提供

「治療についてきめ細やかな説明を行うなど患者に寄り添った対応ができています。また、患者に対しチーム医療として取組み、十分な医療提供が行われている。」と意見を追加する。

第1-3-（2）快適性及び職員の接遇の向上

「令和4年度の患者満足度調査の結果についてもホームページに公開し、引き続き接遇の向上に努めることを望む。」と意見を追加する。

第1-3-（3）総合相談窓口の充実

「総合相談窓口について、より周知徹底することで外来患者の利用増加につながることを望む。」と意見を追加する。

第2-2-（1）人事考課制度の導入

「人事評価の際に被評価者が自身を振り返る機会を設けることは、自身の改善点がわかるよい機会であり評価できる。」及び「人事評価は、処遇への反映は難しくても各自のモチベーションを高め、働く意欲がでるような工夫を望む。」と意見を追加する。

第2-2-（3）計画的かつ適切な職員配置

「常勤だけでなく、非常勤職員の採用においても努力が見られるためIVと評価する。」

と意見を追加する。

第2-2-(4) 研修制度の推進

「受講率を100%とすることは、職員自身の意識と職場の配慮がないと困難であることから大変評価できる。」と意見を追加する。

第3-1-(3) 支出の節減

「評価としてはⅢとなっているが、令和3年度に比べさらに収益が上がっている結果をみると、収入の確保とともに支出の削減もできていることがうかがえ、評価できる。」と意見を追加する。

○議題(3) 第2期中期目標期間における業務実績報告書の自己評価に対する意見について

第2期中期目標期間における業務実績報告書の委員会の評価について以下のとおり決定した。

すべての項目において委員会の評価は、法人評価と同様とする。また、以下のとおり意見を追加することとする。

第1-1-(1) 地域医療の維持及び向上

「消化器内科を中心として特に地域医療に貢献していると考える。」と意見を追加する。

第1-1-(2) 在宅医療及び介護までの総合的なサービスの提供

「第2期中期目標期間中は新型コロナウイルス感染症の影響もあり計画を下回る項目も多く、Ⅲという評価になっているが、実際には町の在宅医療、介護に大きく貢献していると考える。」と意見を追加する。

第1-1-(4) 救急医療への取組み

「指標がないため評価しづらくⅢとなっているが、救急告示病院としての役割は十分に果たしている。」と意見を追加する。

第1-3-(3) 総合相談窓口の充実

「総合相談件数は年々増加しており、大変評価できる。引き続き体制の維持に努め取り組むことを望む。」と意見を追加する。

第1-3-(4) 地域住民への医療情報の提供

「コロナ禍により中止していた院外での活動を再開することにより、地域住民への情報発信に取り組むことを望む。」と意見を追加する。

第2-2-(4) 研修制度の推進

「内部研修、外部研修ともによく取組んでいるが、指標化が難しく、評価もしづらくなっている。評価しやすくなるよう実施内容の記述等について検討を望む。」と意見を追加する。

第3-1-(1) 健全な経営の維持

「町からの運営負担金が減少する中、第2期中期目標期間中は経営努力により年々経営が健全化し黒字となっていることは評価できる。」と意見を追加する。

○その他(1) 今後のスケジュールについて

令和4事業年度及び第2期中期目標期間における業務実績報告書に対しての今後の流れについて確認した。

【議事要旨】

○議題（1）第1回評価委員会議事要旨について

（委員長） 第1回評価委員会議事要旨について、事実と異なる点などがあれば指摘をいただきたい。

（委員） 指摘なし。

（委員長） では、第1回評価委員会の議事要旨については、このとおりとし、後日町のホームページに公開していただきたい。

○議題（2）令和4事業年度における業務実績報告書の自己評価に対する意見について

○議題（3）第2期中期目標期間における業務実績報告書の自己評価に対する意見について

事務局から、業務実績報告書の病院評価と委員評価に相違がある項目について説明（コメントを紹介、関連するため一括して説明）。（令和4事業年度は3項目、第2期中期目標期間は1項目）

（委員長） では、委員会の評価として取りまとめを行う。議題（2）と（3）は関連するため、評価についても一括して行う。また、今回法人評価と自身の評価が同じであってもこの場でコメントをいただきたい、積極的な発言を求める。

（委員長） では、第1-1-（1）地域医療の維持及び向上において、令和4事業年度と第2期中期目標期間どちらも法人評価Ⅳに対し、委員評価もⅣとなっており相違はないが、意見はあるか。

（委員） 芦屋町においても人口が減っていると思う。その中、院長のリーダーシップにより特に消化器内科は質も高く、消化器内科を中心として地域医療に貢献していると思い、評価をⅣとしている。

（委員長） ほかに、意見はあるか。次に、第1-1-（2）在宅医療及び介護までの総合的なサービスの提供において、令和4事業年度と第2期中期目標期間どちらも法人評価Ⅲに対し、委員評価もⅢとなっており相違はないが、意見はあるか。

（委員） 意見なし。

（委員長） 第1期中期目標期間では評価がⅣとなっており、第2期ではⅢと下がって

いる。これは、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたため、指標の数値が計画を下回ったからだと思う。しかし、実際には町の在宅医療、介護の部分にかなりの貢献をしているということを意見として加えることでいいか。

(委員) 異議なし。

(委員長) 次に、第1-1-(3) 地域医療連携の推進において、令和4事業年度と第2期中期目標期間どちらも法人評価Ⅲに対し、委員評価もⅢとなっており相違はないが、意見はあるか。

(委員) 意見なし。

(委員長) 次に、第1-1-(4) 救急医療への取組において、令和4事業年度と第2期中期目標期間どちらも法人評価Ⅲに対し、委員評価もⅢとなっており相違はないが、意見はあるか。

(委員長) この項目には、指標がないため評価しづらいが、昨年に比べて件数が大幅に増えたり減ったりもしていないため、救急告示病院としての機能は十分に果たしていると考えていいと思う。そのように意見を加えることでいいか。

(委員) 異議なし。

(委員長) 次に、第1-1-(5) 災害時等における医療協力において、令和4事業年度では法人評価Ⅳに対し、委員評価がⅣの方とⅤの方がいる。委員会として評価を合わせなければならないが、意見はあるか。また、第2期中期目標期間は、法人評価、委員評価ともにⅤとなっている。

(委員) 災害は起きていないが、コロナを災害ととらえた時に、令和3年度に住民の意見や要望を聞きながら仕組みづくりをしてきたという経緯があり、災害が起きた時のことを考えると地域に根差した病院として高く評価できる。法人は、令和4年度は新たな仕組みは構築しなかったという理由でⅣとしているが、取組を継続することの方が難しいと思い、私はⅤと評価した。現段階で、さらに目指そうとしているものがあるのか尋ねる。

(病院) 令和4年度と第2期中期目標期間の評価に差をつけている理由は、第2期はコロナ禍まただ中の4年間ということで、この新型コロナウイルス感染

症を大規模災害と受け止め、さまざまな仕組みづくり、取組みを行ったことを評価した。本来、第2期においても新型コロナウイルス感染症以外の災害に対しての取組みが若干足りていないということで、Ⅳと考えていたが、この期間中のコロナ一色であったこともあり、コロナを災害と考える取組みとしてⅤと評価した。しかし、令和4年度はやはり本来の災害に対しての取組みも足りていないし、令和3年度の取組みをなぞっただけということで一つ評価を落としてⅣとした。

(委員長) ほかに、意見はあるか。

(委員) 意見なし。

(委員長) では、令和4年度については、避難訓練が中止になったこともあるので、委員会評価もⅣとすることでもいいか。また、今回の新型コロナウイルス感染症に対する臨機応変な対応を振り返って、次の災害に備えることを意見として加えることでもいいか。

(委員) 異議なし。

(委員長) 次に、第1-1-(6) 予防医療への取組において、令和4事業年度と第2期中期目標期間どちらも法人評価Ⅳに対し、委員評価もⅣとなっており相違はないが、意見はあるか。

(委員) 意見なし。

(委員長) では、第1-1-(7) 地域包括ケアの推進において、令和4事業年度と第2期中期目標期間どちらも法人評価Ⅳに対し、委員評価もⅣとなっており相違はないが、意見はあるか。

(委員) 意見なし。

(委員長) 次に、2ページ目、第1-2-(1) 医療従事者の確保において、第2期中期目標期間では法人評価Ⅳに対し、委員評価がⅣの方とⅤの方がいる。委員会として評価を合わせなければならないが、意見はあるか。また、令和4年度は、法人評価、委員評価ともⅣとなっている。

(委員) 私の病院でも同様だが、人材の確保は大変難しい。特にコメディカル職員については、引き抜きも多く、異動が激しくなっており採用が難しい。薬剤師はさらに採用が厳しい状況にある中、法人では人材を確実に採用できていることからIVと評価した。

(委員長) 確かに指標を見ても、マイナスになっているのは認定看護師だけであり、医師数は計画より3人多い。なかなか達成できるものではない。第2期中期目標期間では指標について計画と同じか上回っており、人材確保に努力していることを意見として加え、委員会評価としてはIVとすることでもいいか。

(委員) 異議なし。

(委員長) 第1-2-(2) 医療安全対策の徹底において、令和4事業年度と第2期中期目標期間どちらも法人評価IVに対し、委員評価もIVとなっており相違はないが、意見はあるか。

(委員) 意見なし。

(委員長) 第1-2-(3) 計画的な医療機器の整備において、令和4事業年度と第2期中期目標期間どちらも法人評価IVに対し、委員評価もIVとなっており相違はないが、意見はあるか。

(委員) 意見なし。

(委員長) 次は、第1-2-(4) 第三者評価機関による評価において、令和4年度では法人評価IVに対し、委員評価がIVの方とVの方がいる。委員会として評価を合わせなければならないが、意見はあるか。また、第2期中期目標期間は、法人評価、委員評価ともIVとなっている。

(委員) 前回の説明で病院としてはまだ道半ばであるということだったが、内部監査員も大変多く、不適合が0件ということでVと評価した。

(病院) 高く評価していただいたことは大変ありがたい。当院ではIS09001に取り組んでおり、その仕組みとしては各部署があげた問題点、それに対する対策、それをどう実行していくかという一連を審査されるものである。各部署の問題点、目標に関して本当に適切なものかどうかについて病院として精査する必要がある。

あると思いⅣと評価している。不適合0件については、病院としても大変喜ばしい。

(委員) 病院機能評価と比べて ISO9001 はどのくらい厳しいのか。

(病院) ISO9001 は、病院が示した方針に合わせて各部署が仕組みづくりからしていく。それについて、取組みがなされているかどうか。病院機能評価とは評価する場所が違うと思う。

(委員) 病院機能評価では、ランクが S、A、B、C とあるが、すべて S はありえない。A や B で合格となり、C では改善を求められ合格とならない。不適合が 0 件というのは、どういった状態なのか。すべて S なのか A なのか。

(病院) ISO9001 ではすべて S ランクだから不適合 0 件ということではなく、合格ラインをクリアしているものが評価される。クリアしていても意見はもらっており、不合格がなかったから不適合 0 件というもの。

(委員長) どちらかというとなりの評価が多いのは病院機能評価であり、ISO9001 は、マニュアルを遵守できているかということを経営的に詰めて審査されるというもので、不適合 0 件というとなり頑張りしないとできないことである。マニュアルを作り、更新し、きちんと手続きを逸脱せずにできているかを審査するので、かなり高い合格ラインをクリアすることが求められると思う。

(病院) 特に内部監査に関しては、医事課長、看護師長、薬剤部長が中心となってお互いに監査し合う仕組みをつくって、機能している。ただし、マニュアルや各部署の問題点の拾い上げにまだ若干の課題があると思っている。

(委員長) では、委員会評価はⅣとし、外部審査においても不適合 0 件とよく成果を上げていることは意見として追加することでもいいか。

(委員) 異議なし。

(委員長) では、第 1-3- (1) 患者中心の医療の提供において、令和 4 事業年度と第 2 期中期目標期間どちらも法人評価Ⅳに対し、委員評価もⅣとなっており相違はないが、意見はあるか。

(委員) 昨年、芦屋中央病院に7カ月間ほど通院して感じたことだが、医者からのきめ細やかな説明や治療の中で、チーム医療として理学療法士や作業療法士の方との連携もとれており、無事に完治することができた。他の患者からも治療方法などの説明がわかりやすく安心して受診できたと聞いている。以上のことを意見として付け加えたい。

(委員長) 第1-3-(2) 快適性及び職員の接遇の向上において、令和4事業年度と第2期中期目標期間どちらも法人評価Ⅲに対し、委員評価もⅢとなっており相違はないが、意見はあるか。

(委員) 前回の説明で、外来でスタッフが待合時間に積極的に声をかけていると聞いた。令和元年度の満足度調査を見ると、入院ではスタッフとの接触が多いことで患者の満足度も高くなるが、外来では待ち時間が長いことで満足度が低くなっていたので、努力が実ること期待して意見を出した。

(委員長) 令和4年度の結果もホームページに公開されるのか。

(病院) 公開する。

(委員長) 患者満足度調査を公開することに意義があると思うので、令和4年度分も公開し、さらに接遇の向上に努めることを望むと意見として追加することとする。

(委員) 異議なし。

(委員長) 第1-3-(3) 総合相談窓口の充実において、令和4事業年度と第2期中期目標期間どちらも法人評価Ⅴに対し、委員評価もⅤとなっており相違はないが、意見はあるか。

(委員) 令和元年度の患者満足度調査によると、入院患者には総合相談窓口のことが十分に周知されているようだが、外来患者に対しては周知が足りないようである。総合相談窓口については、病院としても力を入れていることなので、周知徹底することでより件数が増えると思う。

(委員長) 計画を大幅に上回る相談件数となっている。引き続き体制の維持に努めていただき、積極的に取り組んでいただくことと先の委員の意見を加えることとする。

る。

(委員) 異議なし。

(委員長) 第1-3-(4) 地域住民への医療情報の提供において、令和4事業年度と第2期中期目標期間どちらも法人評価Ⅳに対し、委員評価もⅣとなっており相違はない。意見として、ホームページへの外来診療担当一覧掲載の希望があるが、どうか。

(病院) 今のホームページでは全診療科が見られるように表示しているが、要望されているものは外来診療のシフト表のようなものと認識する。すでに、各部署に配布しているものがあるので、すぐに改善したい。

(委員長) 情報発信という意味では、祭りや学校へ出向いているものがあつたが、今年度から再開するようになるのか。

(病院) 職員をいろいろなところに派遣して情報発信をしていたが、コロナ禍になって行事もなくなり、感染防止から出向くことをやめていた。今回、コロナが5類感染症となったので、そのような取組みも徐々に再開したいと考えている。

(委員長) では、意見としてコロナ禍で中止していた院外での情報発信についても再開し、積極的に取り組むことを加えることとする。

(委員) 異議なし。

(委員長) 第1-4 法令遵守と情報公開において、令和4事業年度と第2期中期目標期間どちらも法人評価Ⅳに対し、委員評価もⅣとなっており相違はないが、意見はあるか。

(委員) 意見なし。

(委員長) 次に、3ページ目の第2-1 法人運営管理体制の確立において、令和4事業年度と第2期中期目標期間どちらも法人評価Ⅳに対し、委員評価もⅣとなっており相違はないが、意見はあるか。

(委員) 意見なし。

- (委員長) 第2-2-(1)人事考課制度の導入において、令和4事業年度と第2期中期目標期間どちらも法人評価Ⅲに対し、委員評価もⅢとなっており相違はないが、意見はあるか。
- (委員) 被評価者に自己振り返りシートを作成させ、自身はどうだったかを振り返る機会を設けていることは大変よいことである。以前の私の職場でも自身の評価と他人の評価を突合させ、本人に反省すべき点を振り返る機会を設けていた。このことが、本人が自分の改善すべき点が見える大変よい機会となるので、引き続き取り組んでいただきたい。
- (委員) 評価がⅢとなっている理由は、医師の多面評価を行っても処遇にまで至っていないからと思うが、実際に医師の評価を処遇に反映させているような理想的な評価ができている病院はあるのか。
- (病院) 大変難しいことである。ここがⅢとなっている理由は、評価をすることができても給与などに反映できていないためである。地方独立行政法人化し、人事考課制度を導入して病院のために努力した人に、褒めるだけでなく給与面できちんと処遇していきたいと思っているがそうになっていない。
- 医者に関しては、多面評価をフィードバックする院長面談については、初めは私自身が抵抗があったが、実際に行くと医師たちは他人からの評価を謙虚に受け止めてくれている。多面評価が給与面には反映できていないが、実際には、多面評価をフィードバックすることにより、反省もあるが褒められることでモチベーションが上がるということもあるので、プラスの方向に十分働いていると感じる。医師の給与に関わる部分は大変難しいが、まずは医師以外の職員について適切な処遇ができるよう今後検討していきたいと考えている。
- (委員) 当院でも評価後に評価結果を本人に数値で伝えているが、法人ではどうか。
- (病院) 評価結果は伝えている。実際に20人の医師の中で、あなたはどこの位置にいるというの伝える。しかし、悪いことを責めるだけではモチベーションが下がり、病院にとってもいいことではない。
- (委員) 評価については伝えなければならないが、よい所を褒めて、期待をしていることを伝え、医師のモチベーションを上げて頑張ってもらえるようにしていただきたい。

(委員長) では、今の意見を追加することとする。

(委員) 異議なし。

(委員長) 第2-2-(2) 予算の弾力化において、令和4事業年度と第2期中期目標期間どちらも法人評価Ⅳに対し、委員評価もⅣとなっており相違はないが、意見はあるか。

(委員) 意見なし。

(委員長) 第2-2-(3) 計画的かつ適切な職員配置において、令和4事業年度と第2期中期目標期間どちらも法人評価Ⅳに対し、委員評価もⅣとなっており相違はないが、意見はあるか。

(委員) 常勤の方だけでなく、非常勤職員においても採用に努力していることは大変評価できる。

(委員長) 今回の意見を追加していただく。また、第2期中期目標期間における実績報告の項目が「人員配置」と記載してあるので修正するように。

次の項目は、令和4年度において、法人の評価と委員の評価が食い違っているところである。第2-2-(4) 研修制度の推進において、令和4年度では法人評価Ⅳに対し、委員評価がⅣの方とⅤの方がいる。委員会として評価を合わせなければならないが、意見はあるか。また、第2期中期目標期間は、法人評価、委員評価ともⅣとなっている。

(委員) 100%の受講率は大変素晴らしいことであると思う。以前の私の職場でも研修を行っていたが、個人の都合や職場の都合により期間中に100%とすることはなかなか達成できなかった。受講者自身の意識や職場の配慮もあり達成できていることだと思うので、ぜひ今後も同様に取組んでいただきたい。

(委員) 正職の看護師の受講率100%は本当に素晴らしいことだと思う。また、全職種において、新人研修や職種別の研修も計画的に行われている。特に長期研修については、定期的に研修を受けさせなければならず、研修に参加することで現場が人手不足になったりと職場にも影響を及ぼすため、なかなか難しいことである。2割近くが長期研修に出ているというのは、私も聞いたことがないような素晴らしいことである。研修に関して積極的にできていることを高く

評価してVとした。

(委員) 評価がVとならない理由は何か。

(病院) 研修の中には教育を含むものもあるのでその辺りの取組みをもう少し各部署で検討した上で、病院としても関わらなければならないと考えている。100%の受講が求められている感染や医療安全についての講習は、e-ランニングやビデオ受講により100%の受講率となっている。そういう研修だけではなく、今後幹部職員を養成する必要があるので、教育研修の取組がまだ足りていないこと、人事考課制度との関係についてももっと充実する余地があるということでIVと評価した。

(委員長) 指標がない項目であり、指標化もしづらい項目でもあるので委員会としても評価しにくい。次年度や次の計画では、取組みを具体的に記載するなどして評価しやすくしていただきたいことを今まで出た意見とあわせて追加し、委員会の評価としてはIVとすることでもいいか。

(委員) 異議なし。

(委員長) 第3-1-(1)健全な経営の維持において、令和4事業年度と第2期中期目標期間どちらも法人評価IVに対し、委員評価もIVとなっており相違はないが、意見はあるか。

(委員) 第2期中期目標期間中、町からの運営負担金が減少する中でも年々経営が健全化し、黒字となっていることはしっかりと経営努力しているからであり、大変評価できる。

(病院) 国からの繰入金で病床数等で計算され、法人には毎年1億3千万円程度入ってくる。その国からの繰入金がなくても黒字となるのが評価がVとなる時と考えている。

(委員長) 次に第3-1-(2)収入の確保において、令和4事業年度と第2期中期目標期間どちらも法人評価IVに対し、委員評価もIVとなっており相違はないが、意見はあるか。

(委員) 意見なし。

(委員長) 最後、第3-1-(3)支出の節減において、令和4事業年度と第2期中期目標期間どちらも法人評価Ⅲに対し、委員評価もⅢとなっており相違はないが、意見はあるか。

(委員) Ⅲという評価は、控えめな評価と感じる。指標からみるとそれなりに達成できており、令和3年度に比べるとさらに収益もあがり、収入の確保、支出の節減どちらともできており評価できる。

(委員長) では、以上で令和4事業年度における業務実績報告書の自己評価に対する意見及び第2期中期目標期間における業務実績報告書の自己評価に対する意見について、評価委員会としてのすべての意見を決定したこととする。事務局において、意見の追加や修正等をお願いする。

○その他 今後のスケジュールについて

事務局から令和4事業年度における業務実績に関する意見書(案)及び第2期中期目標期間における業務実績に関する意見書(案)の今後の流れについて説明を行った。

(委員長) 質問はないか。

(委員) 質疑なし。

(委員長) では、本日の委員会は終了する。

(閉会)